

～平成29年度事業計画（案）～

1. 当会が目指す『まちの未来像』（町総合戦略より）

日本は世界でも類を見ない未曾有の『人口減少・少子高齢化』による右肩下がり社会に突入する。我々は町民とともに厳しい現実を真摯に受け止め、子や孫の世代にきちんと地域を繋ぐために、希望ある『町の未来』を考え、創り、繋がねばならない。

なお、町総合戦略を踏まえ、目指すべき『まちの未来像』を次の通り明確に示す。

- 1) 住民や移住者が、明日への希望を持ってビジネスや地域づくりにチャレンジできる町。
そして、彼らを本気で応援できる町。
- 2) なりたいもの、やりたいことがある子供たちが、夢にチャレンジできる町。
そして彼らを本気で応援できる町。
- 3) 住民と移住者による協働で、世界で勝負できる価値創造型ビジネス創りや新たな集落支援ソーシャル活動等にチャレンジできる町。そして彼らを本気で応援できる町。
- 4) 町民が胸を張って「錦江町に住んでいると」誇れる町。
誇りとワクワク感に満ちた希望の『MIRAI』が想像できる町。

2. 当会の活動キャッチフレーズ

『厳しい現実』を逆手にとって、子や孫の為に希望あふれる『未来』を考え、創り、繋ごう!!

3. 当会の理想形

大隅半島初の『THINK & DO』タンク

4. 目指すべき『まちの未来像』に近づける為の基本戦略

- 1) 地域の未来づくりに絶対に必要な土台ともいべき町内熱量（前向きさと活動意欲）を引き続き増量させる。
- 2) 生産年齢人口減少や高齢化に伴い、町内総生産額、農業生産額、町内事業者数、農業生産者数等、これまでのような『スケール』メリット追求型の経済縮小はどうやっても避けられないが、町内商工事業者や農業生産者あたり税引き後利益（生産性向上）と町内企業従事者一人当たり可処分所得を向上させ、やりがい（事業持続意欲）を維持・向上してもらおう。
- 3) 町内には存在しない、もしくは現在の世の中には存在しないが、町内の子ども達が憧れ、町内で就職したいと思える『未来型（第4次産業革命対応型）』のビジネスを都市部の志の高い若者や企業と連携し、少しでも多く生み、根付かせる。
- 4) 町外の人々に、我々の仲間（支援者・半住者・移住者）になってもらい、一緒に町や集落の未来づくりを行う。
- 5) 人口減少による集落機能低下を現実的にとらえ、様々な手法を駆使して、町民が『支え合い』を実感できる新たな発想による未来志向な集落支援の仕組みづくり研究支援を行う。

5. 活動方針

- 1) 協働型、自立型を志向する個人・グループ・事業者・地域への協力活動を優先する。

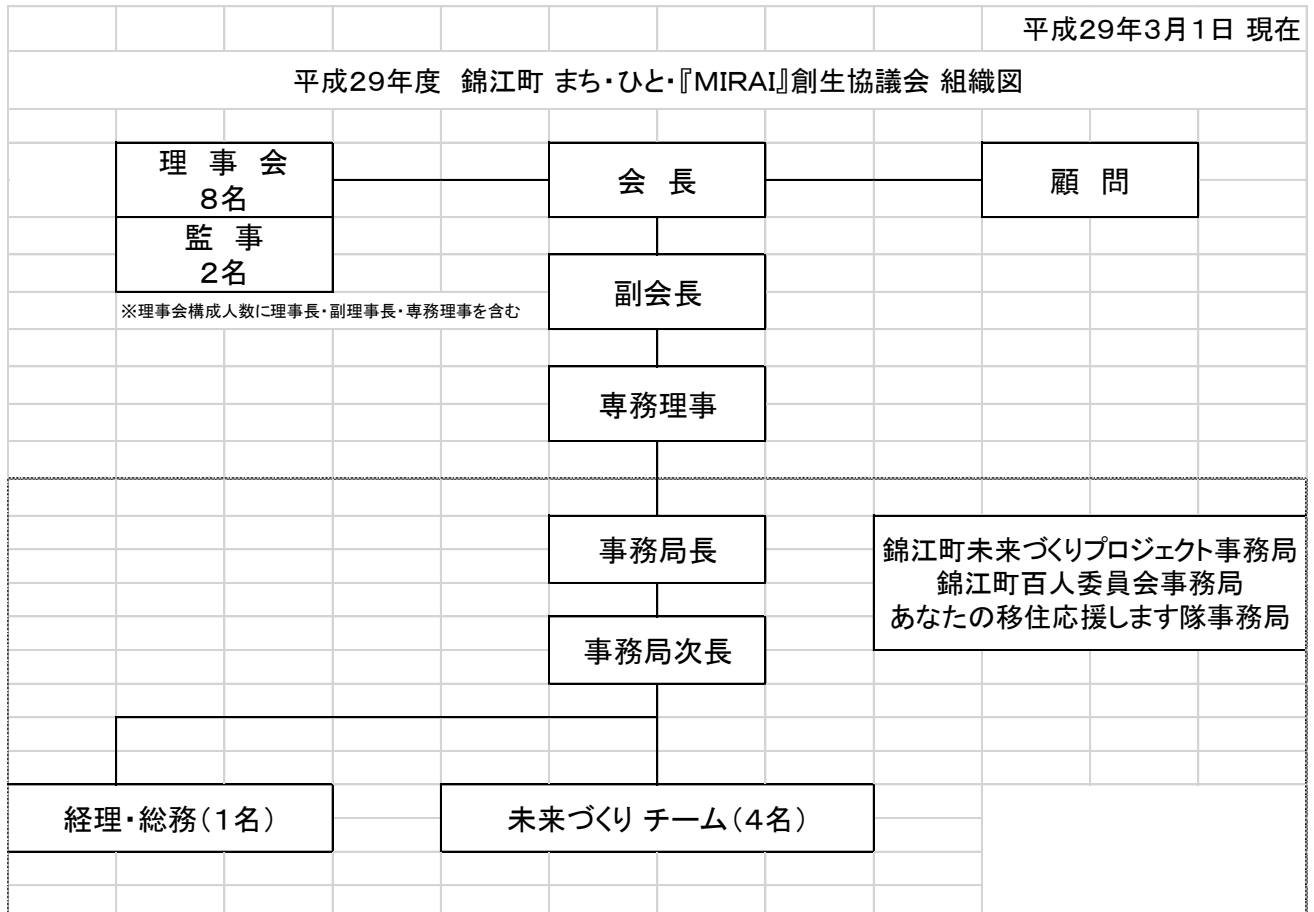
- 2) 三方良し型活動を意識する個人・グループ・事業者・地域への協力活動を優先する。
- 3) ソト者との協働を志向する個人・グループ・事業者・地域への協力活動を優先する。
- 4) 逆転の発想を意識している個人・グループ・事業者・地域への協力活動を優先する。
- 5) 未来像を共有できる個人・グループ・事業者・地域への協力活動を優先する。

6. 事業執行の視点

町民アンケート過去5年分データや町の未来想像・創造コンテスト、『行政職員が考える町内課題』に世界や日本の未来予測を加味して分析した結果、次の3つの視点で個別事業を執行することとした。

- 1) 当町の強みを最大活用する視点
- 2) 当町の弱みを逆転の発想で、強みに変える視点
- 3) 町内人材・素材・政策・文化・生活習慣・困り事と外部人材・知財・政策・組織・金融を固定概念を排して組み合わせる視点

7. 組織図



8. 個別戦術及びKPI ※町総合戦略との連動により、個別戦術を執行する。

1) 事業名 土台づくり

① 事業概要

地域活性化の進行状態を『ホップ・ステップ・ジャンプ』として示した場合、『ホップ』する為には『確固たる土台』が必要である。

『確固たる土台』とは、町民と行政が当町の置かれた現状や危機感を共有した上で、町の『未来』を決める意志決定に老若男女の参画を促すことである。

上記状況があつてこそ、町民と行政による目的共有型の協働活動が本格化するものと確信する。

町内での強固な『土台作り』が成長型社会から縮小型社会への大転換を『未来志向』で乗り越え、質の高い、持続的な地域経営を支える大きな原動力になると確信し、最優先施策と位置付ける。

② 事業内容

- i 町民や行政職員の『危機感・目的・目標・役割』の共有化と協働意識啓発
 - i-1 町内91自治会への経過説明会及び意見交換実施
 - i-2 未来想像・創造コンテスト後継版
 - i-3 百人委員会によるふるさと納税の使い道提言
 - i-4 集落の困りごと情報収集
 - i-5 広報誌の戦略的運用実践および広報の壁新聞・WEB新聞連動化
 - i-6 全国先進自治体との実践状況比較評価と情報共有
 - i-7 町広報誌や新聞・テレビ、高度情報技術を駆使した総合的な啓発活動
- ii 民間主導型『地域づくり』団体による各分野連携型地域活性化活動
 - ii-1 当町が『見習うべき』と判断した自治体との政策連携推進と人材交流促進
 - ii-2 町内に複数の『地域活性拠点』を設置し、各種事業実践を加速化

③ KPIによるチェック項目

- i 未来志向政策提言コンテスト提案数 : 200件以上（平成28年度：92件）
- ii 志の高い取り組み報道数 : 10件以上
- iii 壁新聞発行 : 6回
- iv 資源化出来そうな困り事収集件数 : 20件
- v 説明会・講演会回数 : 90回以上
- vi 全国自治体との政策連携協定 : 2件
- vii 起業との連携協定 : 3件
- viii 大学との連携協定 : 2件
- ix 町民向け啓発講座 : 5件
- x 町民・行政職員・議員向け合同研修 : 1件（40名）
- xi 百人委員会運用 : 10回
- xii 町民広報誌づくり委員 : 10名
- Xiii 町民営業チームメンバー登録 : 30名

2) 事業名 『しごと』づくり

① 事業概要

ひとたび始まった人口減少状態はそう簡単には止まらないこと、それに伴いこれまでのような消費額や生産量などの総量増加はもはやあり得ないことをきちんと受け止め、町内事業者の利益向上や新たなビジネス興し等を企図した『質の向上』にこだわり、次の通り重点を置き、事業を展開する。

- i 町内で頑張っている農林水産・商工事業者の『利益増加』や後継者・承継者『誘致』の仕組み整備

- ii 子ども達が憧れ、町内にUターン就職したいと思えるような未来のビジネス創出
- iii 10年以内に必ず現実となる第4次産業革命を担える人材輩出を強く意識した環境整備
- iv 高齢者の方々による社会貢献型の小規模ビジネス促進

② 事業内容

i 『頑張る』第1次～3次事業者の利益向上に資する『仕組み』づくり

- i-1 町内優秀事業者等に対する商談会への出展、出品補助支援
- i-2 ふるさと納税システム一括管理による、町内産品開発・販売の本格促進
- i-3 町内産品の『高付加価値』特化型流通網構築
- i-4 事業承継しつつ、新たなビジネスを起業する方への経営支援や投資
- i-5 高度な先端技術活用型の農業経営効率化によるコスト削減システム導入支援
- i-6 自助努力が顕著な町内事業者を対象とした六次産業化の本格促進

ii 人口減少に伴う町内消費の縮小を穴埋めする『高付加価値』づくり

- ii-1 ハイエンド産品創出実証実験 ※ハイエンド産品（富裕者向け高額産品のこと）
- ii-2 当会がハイエンド型で勝負できると判断した町内産品の『機能性調査』による高利益創出研究
- ii-3 町内外の事業者の連携（経営統合・共同生産体制強化）推進支援
- ii-4 半農×半エックス移住者積極誘致

iii 『サテライトオフィス』拠点整備による頭脳労働型ベンチャー企業誘致

- iii-1 公共施設活用又は古民家活用型サテライトオフィス化によるベンチャー起業誘致
- iii-2 全国の先進的研究学術機関誘致

iv 錦江町発 世界や日本で勝負できる『しごと人』づくり

- iv-1 未来ビジネス起業を前提とした『地域おこし協力隊』移住誘致
- iv-2 民泊新法制定を前提とした『ラグジュアリー民宿』起業移住者誘致及び起業支援
- iv-3 当町出身で、世界や日本で活躍する自立型企業家や職人のUターン誘致
- iv-4 都市部出身で、世界や日本で活躍する自立型企業家や職人のIターン誘致

v 未来に花開くビジネスの『種』づくり

- v-1 町内にあったら良いと思う業種に絞り込んだ移住者誘致と起業支援
- v-2 錦江町の未来を担う若手経営者と町外優秀人材とのマッチングビジネス
- v-3 田代地域の気候を強みに出来るハイエンド産品の小規模栽培ビジネス誘致
- v-4 最先端技術による農業貢献ビジネス実証実験誘致
- v-5 先端技術による過疎地の課題解消型ビジネス実証実験誘致

- v-6 中央省庁等のサテライトオフィス誘致
- v-7 未来ビジネスの『タネ』探しプロジェクト

vi 楽しみながら少し稼げる『健康寿命に直結する』社会貢献型しごとづくり

- vi-1 高齢者による社会貢献型小規模ビジネス促進
- vi-2 高齢者と移住者や半住者との組み合わせによる社会貢献型小規模ビジネス促進
- vi-3 高齢者の特技を組み合わせた小規模事業起業支援
- vi-4 母子世帯向け、錦江町で展開可能な小規模事業起業支援

vii 共通環境整備

- vii-1 役場各セクションの『強み』と『課題』を組み合わせた支援体制づくり
- vii-2 意欲的な起業希望者向けの小口投資の仕組み整備（組合せ型投資）
- vii-3 意欲的な町内起業希望者向けの『スタートアップ』包括支援プログラム整備
- vii-4 自助努力が顕著な町内事業者のターゲット絞り込み型新商品開発または新領域分野進出支援
- vii-5 営業専門部隊の創設と自助努力が顕著な町内事業者が作る『ハイエンド商品』の認定による営業支援
- vii-6 全国で成功している過疎地型『小規模事業』『高度通信技術』『農業事業者』『漁業事業者』等の事業者を招聘したビジネス啓発講座継続開講
- vii-7 町内外の実践家達と町内児童・生徒との積極的交流による学習リテラシーの向上
- vii-8 町内遊休公共施設に活性化拠点を複数設置し、積極的に『新ビジネス拠点』とする。

③ KPI によるチェック項目

i	包括支援パッケージ利用者	:	5 事業者
ii	サテライトオフィス設置・起業を指向する方々の視察・下見支援	:	10 回
iii	サテライトオフィス誘致成功	:	2 事業者
iv	小口投資利用企業	:	2 社
v	町内事業者の新商品開発成功	:	5 商品
vi	町内有望製品の機能調査	:	1 品
vii	町内事業者営業支援	:	10 社
viii	町内事業者啓発講座	:	5 回
ix	ふるさと納税販売額	:	150%増
x	ふるさと納税町内産品占有率	:	60%以上
XI	自立型母子家庭移住成功	:	2 件
xii	新規起業成功	:	3 件

3) 事業名 『なかま』づくり

① 事業概要

平成72年まで人口が続落すると予測される当町では、移住者の誘致が非常に重要であるが、全国的には、自力で稼げる若い世代や結婚・出産適齢世代については、高条件による誘致競争が一層激化すると予想されている。

当町では独自戦略による高質な取組み実践とそれらを国内外問わず、当町に移住してもらいたい属性の方々に直接PRすることで、当町の『想い』や『実践活動』に共感してくれた移住者を当町の仲間としてやわらかく受け入れる体制を構築する。

特に、エリアによって、望ましい移住者の有り方が異なることから、地域住民との協働による誘致活動を前提としつつ、地域毎の課題を意識した誘致戦略のもとで、次の事業を重点的に行う。

- i 移住者を増やす → 錦江町に『住み』、町民や町に良い影響を与えてくれる方を増やすこと。
- ii 回帰者を増やす → 町出身者で町の将来性に可能性を感じて『回帰』してくれる方を増やすこと。
- iii 支援者を増やす → 錦江町を強かに『応援』してくれる方を増やすこと。
- iv 投資者を増やす → 錦江町に対して積極的に『投資』してくれる方を増やすこと。

② 望ましい誘致対象者

- i 錦江町内で雇用や経済効果を創出できるような『仕事』を町内に持ち込んでくれる方
光回線とコンピューターさえあれば、どこでもビジネスが出来、町内経済にも好影響を与えられ、子供達の憧れになり、錦江町の新産業の『核』にもなり得る都市部住民又は出身者。
- ii 錦江町の主産業である『農業』をビジネスと捉えて積極的に取り組む方
平成27年度で生産高91億円と、全国的にも健闘をしている当町農業の未来を担える若年層や女性層に対して、積極的にビジネス型就農へと結びつける。
但し、このことは『働き手』では無く、『担い手＝農業経営者』を中心に誘致するものである。
- iii 後継者がいない事業者の『既存事業＋新たな発想』切り口で『後継者』になってくれる方
これからも持続可能な事業にもかかわらず、後継者がいないが故に廃業せざるを得ない事業者に対して積極的に町内外の若者を結び付けられるよう働きかけを行う。
特に、光回線によるインターネット社会の今、これまでの発想に無い発想で展開できるような、掛け合わせ型ビジネスを担える人材誘致を意識する。
- iv 全国どこでも勝負できるビジネスをしながら子育てをされている一人親の方
移住者誘致を表明する前から、子育て支援を地道にしっかり実践し、出生率は県内トップクラスの錦江町の強みを最大限活かし、ビジネスは頑張っているが、都会での子育ては中々辛いと考えている一人親の方々と積極的に繋がり、移住へ結び付けます。
- v 錦江町に住み、近隣市町で働く方
長野県下條村方式の人口誘致対策であるが、本質的生産年齢人口増加対策が奏功するまでの『繋ぎ』事業の位置づけとして展開する。

③ 事業内容

i 未来を一緒に作ってくれる『仲間』づくり

- i-1 町民への移住者受入れ意向調査※
- i-2 地区単位別『空き家バンク』登録促進作戦※
- i-3 地区単位別移住支援者促進作戦※
- i-4 『生活条件重視』移住者の誘致※
- i-5 『ライフスタイル重視』移住者の誘致※
- i-6 『未来産業』起業型移住者の誘致※
- i-7 『非降雪地帯』アピール誘致研究※
- i-8 『既存産業』従事型若手移住者の誘致研究※
- i-9 『既存産業』従事型外国人移住者の誘致研究※
- i-10 起業型移住者の誘致研究※
- i-11 ターゲット層に対する働きかけ促進※
- i-12 ターゲット層に対する情報発信促進※
- i-13 ターゲット層の囲い込み促進※
- i-14 町出身インフルエンサーを『ピックアップ』と『データ管理』
- i-15 町出身者の散逸名簿の統合と『データ管理』
- i-16 支援者や当町ファンの散逸名簿の統合と『データ管理』
- i-17 ふるさと納税発送品を利用した移住や観光、投資、起業等の随時情報提供
- i-18 大手企業と連携した潜在的自立型移住者をターゲットとした継続的セグメンテーションプロモーション
- i-19 HPアクセシビリティ分析によるターゲットへの確実なアクセス率向上
- i-20 事業者別後継者不足調査
- i-21 地元事業者と移住・起業希望者とのビジネスマッチング

ii 産学・政策・広域連携などを通じて当町に利益をもたらす関係づくり

- ii-1 地域投資ファンドとの連携による新たなビジネスづくり※
- ii-2 全国の過疎地で頑張る若者ネットワークへの加入と情報交換※
- ii-3 特定企業と連携した錦江町移住定住PRプロジェクト※
- ii-4 特定テーマによる全国の自治体との政策連携※
- ii-5 農地集積が活発な地域同士のネットワーク化※

④ KPI によるチェック項目

i 新規起業支援	:	3件
ii 空き屋バンク登録促進	:	30件
iii 町支援者（ファン）名簿化	:	100名
iv 町出身者名簿化	:	200名

v	インフルエンサー名簿化	:	50名
vi	後継者不足事業者とのマッチング成功	:	1件
vii	地元事業者と起業希望者とのマッチング成功	:	1件
viii	移住者	:	5件
ix	政策連携締結	:	3件

4) 事業名 『ひと』づくり

① 事業概要

急激な生産年齢人口減少や高齢化を迎える当町では、農業生産や経済、福祉など、殆どの分野で影響が出るのが予想される。

そこで、これまでの様な『右肩上がり社会』とは異なる価値観での『人材育成』がたいへん重要になる。

特に、町の未来づくりの為には、世代・性別・立場を問わず、それぞれが明確な役割を担い、地域運営へ積極的な参画を促す為の啓発活動や、高齢者によるスモールビジネス起業の為の教育、年少世代や若者を対象とした世界に通用する人材育成をこれまでにない規模と質で積極的に推進する。

② 事業内容

i 未来を託す『子ども』と『育児世代』の支援・啓発

i-1 小学生向け『英語』関連無料公営塾実施

i-2 中・高校生向け『世界に通用する』『ICT』『AI』『AR』人材育成型公営塾実施

i-3 町出身『篤志家』との連携に優秀者への教育資金提供プロジェクト研究

i-4 ふるさと納税による地域の子供育成プロジェクト研究

ii 未来づくりと協働実践活動への理解促進

ii-1 広報誌・メディア・WEBでの一貫したテーマでの広告知活動実施

ii-2 世界と日本の『潮流』と『一流の人物の考え方』を町内で学ぶ講演会実施

ii-3 町民公募型行政や議会との『先進地』派遣型合同研修機会実施

ii-4 百人委員会を通じた建設的意見交換実施（再掲）

ii-5 協働への理解啓発活動としての各種提案コンテスト実施（再掲）

ii-6 町民による『協働』取組み事例『発表会』及び表彰式実施

iii 健康寿命に拘った一般高齢者への『心の活性化』づくりと社会参画促進

iii-1 集落の困りごと収集実施（再掲）

iii-2 高齢者の特技を登録し交流プログラムで活躍頂く登録制度制定・実施

iii-3 高齢者と若者を組み合わせた起業支援（再掲）

iii-4 高齢者向け地域支援担い手育成『巻き込み型』パッケージプログラム支援

iv 人づくりを支える人材育成

iv-1 行政職員による新たな短期研修制度設計支援※

iv-2 『実践型』起業塾研究・設立

iv-3 新たな働き方実証実験（兼業・テレワーク）※

③ KPIによるチェック項目

i	小学生向け『英語』関連無料公営塾実施	: 10回/年
ii	中高生向け『世界に通用する』『ICT』『AI』『AR』人材育成型公営塾実施	: 10回/年
iii	広報誌一緒につくり隊員公募隊員数	: 10名
iv	世界と日本の『潮流』と『一流の人物の考え方』を町内で学ぶ講演会実施	: 5回/年
v	町民公募型行政や議会との『先進地』派遣型合同研修機会実施	: 2回×20名/年
vi	百人委員会を通じた建設的意見交換実施	: 10名×10回/年
vii	集落の困りごと収集実施	: 困りごと収集10件
viii	高齢者の特技を登録し交流プログラムで活躍頂く登録制度制定・実施	: 登録者30名
ix	新たな働き方実証実験（兼業・テレワーク）	: 10事業所
x	あなたの移住応援します隊員数	: 30名

5) 事業名 『新しい絆』づくり

① 事業概要

平成27年度に実施した地方創生町民アンケートでは『安心』や『支え合い』に関する要望や提案が大変多く寄せられたが、これは中山間地を中心に、人口減少に伴う地域コミュニティ衰退に対して大きな不安を感じている町民が多いことを示唆している。

そこで当町では、ICTツールや新たなコミュニティ構築手法など、新たな繋がり方を積極的に導入し、既存事業と複合的に組み合わせることで、町民が『支え合い』を実感し、安心して生活できるゆるやかな絆づくりを町内に横断的かつ複層的に推進こととする。”

② 事業内容

- i 各世代が『役割』を担い、元気に活躍できる『地域』づくり**
 - i-1 91自治会『錦江町の未来づくり』途中経過報告会及び意見交換会2017
 - i-2 町民と行政の新たな公共の役割分担実証実験※
- ii ゆるやかに柔らかく繋がり、支え合える『互助関係』づくり**
 - ii-1 元気な町民による要サポート町民のサポート制度研究
 - ii-2 小規模多機能集落支援研究
- iii 新住民と在来町民をゆるやかに繋げ、相乗効果を町の力に変える『場』づくり**
 - iii-1 あなたの移住応援します隊事務局担当（再掲）
 - iii-2 広報いっしょにつくり隊運用
 - iii-3 町民の『町政参画』を企図した熱量向上取り組みの多チャンネル化
 - iii-4 青年団への『全国での錦江町PR及び元気づくり』支援
 - iii-5 集落ごと『移住者』応援隊員登録制度
 - iii-6 錦江町PRアンバサダー運用

③ KPIによるチェック項目

- i 2017年についても全自治会で途中報告会及び意見交換会を実施 : 91自治会

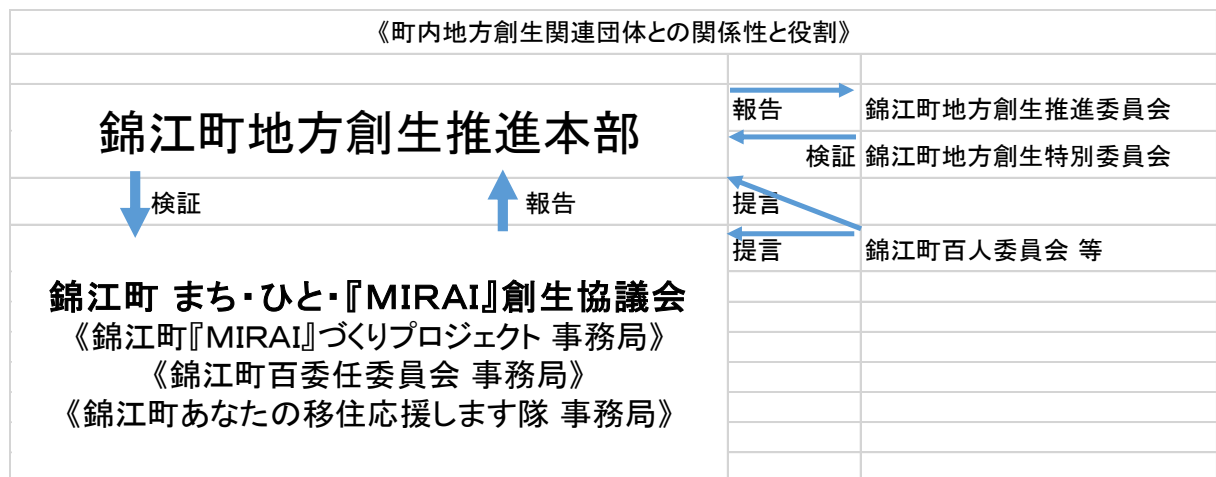
- ii 新たな公共スキーム実証実験 : 3 件
- iii 小規模多機能集落実証試験 : 1 件
- iv 集落ごと『移住者』応援隊員登録 : 50名/年

9. 事業実施期間

- i 第1期：ホップ : 平成29年4月1日～平成30年3月31日
 - ii 第2期：ステップ : 平成30年4月1日～平成32年3月31日
 - iii 第3期：ジャンプ : 平成32年4月1日～平成33年3月31日
- ◆ 通期 : 土台作り : 平成28年4月1日～平成33年3月31日

10. 事務局体制

- 1) 組織名
錦江町まち・ひと・『MIRAI』創成会議 事務局
- 2) 組織の位置づけ
錦江町『MIRAI』づくりプロジェクトの執行組織
- 3) 事務局構成（7名）
 - ① 事務局長 : 1名（兼 専務理事）
 - ② 事務局次長 : 1名（兼プロデューサー）
 - ③ プロデューサー : 2名
 - ④ ディレクター : 2名（1名未定）
 - ⑤ 経理・総務担当 : 1名（兼ふるさと納税経理業務担当）
- 4) 事務局所在地
旧神川中学校
- 5) 町内地方創生関連団体との関係性



6) 役場主管課(政策企画課)との関係性 ※プロジェクト=取組み

当会は町総合戦略事業の総称である錦江町『MIRAI』づくりプロジェクトの執行組織である為、主管課（町政策企画課）・町地方創生推進本部・町内外関係者との連携・協働により事業を行う。

7) 事務局職員氏名及び職務分掌

NO	氏名	性別	年齢	出身県	職名	職務	備考
1	吉田 秀政	男	44	秋田県	理事	未来づくりプロジェクト総責任者	事務局管理・戦略管理・戦術指導・農業生産性向上
2	兼森 一将	男	46	広島県	事務局次長 / プロデューサー	移住者誘致・空き家流通促進責任者	『ひと』づくり・農業後継者誘致・農業女子誘致
3	柴山 吉春	男	46	鹿児島県	プロデューサー	集落多機能化・高齢者スモールビジネス促進責任者	『ひと』づくり・町内経済分析責任者
4	柏崎 真治	男	34	青森県	プロデューサー	総合プロモーション責任者・過疎地型シンギュラリティー責任者	『ひと』づくり・過疎地シンギュラリティー責任者
5	大野 直樹	男	28	鹿児島県	ディレクター	ふるさと納税による商品開発・販売促進担当	『ひと』づくり・起業支援・IT系企業誘致担当
6	未定				ディレクター	シンギュラリティー(実証実験)誘致担当	『ひと』づくり・農業×最先端通信技術 マッチング担当
7	川越 美紀	女	41	鹿児島県	経理・総務担当	経理・総務	ふるさと納税サポート